

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和4年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第1号（サツマイモ基腐病）を發表します。
現時点では、前作で被害が多く見られたほ場での発生が認められています。
梅雨時期となり、発生株から周辺の株に感染が拡大する恐れがあるので、発病株の抜き取りと予防防除など適切な対策に努めてください。
なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（www.jpnpn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



病害虫発生予察 注意報第1号

- 1 農作物名 さつまいも
- 2 病害虫名 サツマイモ基腐病 *Diaporthe destruens* (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman
- 3 発生地域 県本土，熊毛地域
- 4 発生量 ー
- 5 注意報発令の根拠
 - (1) 5月24～31日に実施したほ場調査において、南薩地域、大隅地域及び熊毛地域で発生を確認した。また、6月7日に県本土で実施した追跡調査では、南薩地域及び大隅地域で発生を確認しており、増加傾向がみられることから、今後も追跡調査を行っていく予定である。
 - (2) 現時点では、前作で被害が多く見られたほ場での発生が認められている。また、品種は、抵抗性“やや弱”の「コガネセンガン」、 “弱”の「べにはるか」が中心であり、現在、発病の初期段階と考えられる。
 - (3) 降雨が続くと、発病株に形成された胞子が拡散し、周辺の株へ感染して発生拡大を招く恐れがある。
- 6 防除対策及び防除上注意すべき事項
 - (1) 定植する場合は、苗消毒（ベンレート水和剤またはベンレートT水和剤20）を必ず採苗当日に行い、消毒液は使用当日に調整したものを使用する。
 - (2) 5月中旬以降に定植したほ場については、定植5週間を目安に、発生の有無にかかわらず予防的にアミスター20フロアブルを散布する。また、同剤は連続使用せず、ジーファイン水和剤やZボルドーの銅剤と交互に散布する（表1、表2）。
 - (3) 発病株は大量の胞子を形成し、降雨に伴い周辺株に感染させるため、見つけ次第抜き取ってほ場外へ持ち出し、除去後の補植は行わない（表2）。発病株の抜き取りは、茎葉が地上部を覆う時期までに行う。
 - (4) 本病は、水が停滞しやすい場所での発病が多いので、ほ場の排水対策に努める。
 - (5) 大雨や台風は本病をまん延させるので、発生ほ場では、予防散布を行い病気の進展を遅らせるとともに、発生拡大の状況に応じて早掘りを行う（表2）。

(6) また、抵抗性“中”の「シロユタカ」、 “やや強”の「こないしん」など抵抗性“中”以上の品種についても、病徴が確認されなくても大雨や台風の前に予防散布に努める。

表1 定植前からほ場で基腐病に使用できる農薬 (令和4年6月10日現在の登録内容)

薬剤の名称	希釈倍数	使用薬液等	使用回数 ^{注1)}
< 苗消毒 >			
ベンレート水和剤	500～1000倍	30分間苗浸漬	植付時までの処理は1回以内
ベンレートT水和剤20	200倍	30分間苗浸漬	植付時までの処理は1回以内
< 地上散布 >			
アミスター20フロアブル	2000倍	100～300 L/10a	3回以内
ジーファイン水和剤 (銅剤)	1000倍	200～300 L/10a	—
Zボルドー (銅剤)	500倍	100～300 L/10a	—
< 無人航空機による散布 >			
アミスター20フロアブル	12～32倍	1.6 L/10a	3回以内

注1) アミスター20フロアブルの使用回数は、地上散布と無人航空機による散布と合わせて3回以内。

表2 ほ場での薬剤等による防除対策の一例

	散布時期	薬剤	発病株の除去	留意点
1回目散布	定植から5～6週間	アミスター20フロアブル	↑ ↓	<ul style="list-style-type: none"> ほ場の排水を良好に保つ 薬剤散布は感染前の効果が高いため、<u>予防散布で植物を保護することに重点を置く</u> アミスター20フロアブルは連続で使用しない
2回目散布	1回目散布から14日以内	銅剤 (ジーファイン水和剤またはZボルドー)		<ul style="list-style-type: none"> 発病株は必ず抜き取り、ほ場外へ持ち出す 抜き取り後の補植はしない (再感染の恐れあり)   <p>発病株の葉の変色 地際部の黒変</p>
3回目散布	2回目散布から14日以内	アミスター20フロアブル		   <p>分生子殻 胞子 まん延</p> <p>降雨等で大量の胞子が漏出し、周辺株に感染、まん延</p>
4回目以降	発病状況に応じて散布を追加 特に、豪雨・台風前に予防散布 (7月以降)	銅剤を主体に散布 (ジーファイン水和剤またはZボルドー)		

注 1) アミスター20フロアブルは使用回数 (3回以内) を厳守する

2) 発生拡大の状況に応じて、早掘りを行う

サツマイモ基腐病の生態と防除に関する詳しい情報は、鹿児島県 (https://www.pref.kagoshima.jp/ag05/sangyo-rodo/nogyo/gizyutu/taisaku/documents/70898_20220327104043-1.pdf)、農研機構 (https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotator03.pdf) をご覧ください。



鹿児島県
サツマイモ基腐病防除
対策マニュアル(第3版)



農研機構
サツマイモ基腐病の
発生生態と防除対策
(令和3年度版)